

2021年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	池之上 大野 門田 清水 治村 中西 吉川	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。色彩の幅広い活用法やハンドトリートメント、アロマセラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。両手のトリートメントで15分のハンドトリートメントの流れを止めることなく行えるようになる事。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト3級編、ハンドトリートメント検定テキスト（日本アロマコーディネーター協会）アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式						
履修に当たっての留意点	日本アロマコーディネーター協会ハンドトリートメント検定受験可能						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第1回	オリエンテーション 自己紹介 色の表示①	色相・明度・彩度と基本を理解し、PCCS24色の色相環を カラーカードを使って肌で覚える	
第2回	光と色①	照明によるもの見え方、混色理論や配色など、メイクの見せ方などを交 えての講義をし、照明や混色に興味を抱かせて覚える	
第3回	光と色②	電磁波や光の屈折、目はどうやってできているか、色や目の見え方につ いての座学により、光や目のしくみをよく理解させる	
第4回	色相調和①	ファッションの配色や調和を、カラーカードを使って切り貼りをし、 動きをつけながら理解を深める	
第5回	色の表示②	PCCSや基本色名、色相記号など、様々な色の表示方法を習得する	
第6回	色相調和②	アクセントカラーやセパレーションカラーなど配色調和を習得する	
第7回	まとめ	今まで勉強した配色について練習問題を出し、 それに対して解答や解説をする	
第8回	色彩心理	人が持つ色彩の印象、色の心理的効果について習得する	
第9回	色彩心理	対比や同化など、色彩による視覚効果、様々な視覚現象を習得する	
第10回	配色	色の組み合わせ方、調和等配色技法について習得する	
第11回	配色	ファッションの配色コラージュを制作し、 配色に対する理解をより深める	
第12回	ファッション	ファッションコーディネートや流行色に関する知識を習得する	
第13回	インテリア	インテリアにおける、色彩の心理的効果、 インテリアのコーディネーションを習得する。	
第14回	色彩と生活	生活空間における色彩の働き、色彩と生活についての理解を深める	
第15回	色のはたらき 色名	色名、慣用色名を覚える	
第16回	まとめ	今まで勉強した配色について練習問題を出し、 それに対して解答や解説をする	
第17回	過去問テスト	2017年度の過去問をテストとして行う	
第18回	過去問テスト解答	過去問の解答をし、検定合格にむけてポイント解説を行う	
第19回	カラーコーディネート	ファッションやメイクに必要なカラーコーディネート技法の習得	
第20回	カラーコーディネート	ファッションやメイクに必要なカラーコーディネートコラージュ制作	
第21回	パーソナルカラー	パーソナルカラーの基礎座学、パーソナルカラーの説明	
第22回	パーソナルカラー	パーソナルカラーの三属性について	

2021年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	池之上 大野 門田 清水 治村 中西 吉川	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。色彩の幅広い活用法やハンドトリートメント、アロマセラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。両手のトリートメントで15分のハンドトリートメントの流れを止めることなく行えるようになる事。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書き、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進捗を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト3級編、ハンドトリートメント検定テキスト（日本アロマコーディネーター協会）アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式						
履修に当たっての留意点	日本アロマコーディネーター教会ハンドトリートメント検定受験可能						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第23回	パーソナルカラー	4シーズングループについての説明					
第24回	パーソナルカラー	4シーズンのビジュアルコラージュ制作					
第25回	パーソナルカラー	4タイプの色素傾向について					
第26回	パーソナルカラー	パーソナルカラードレーピング診断テクニック					
第27回	パーソナルカラー	パーソナルカラードレーピング診断					
第28回	パーソナルカラー	パーソナルカラードレーピング診断					
第29回	パーソナルカラー	似合う色のアクセサリ・ファッションテイストについて					
第30回	パーソナルカラー	似合う色のヘアカラー・メイクについて					
第31回	ハンドトリートメントとは	ハンドトリートメントの特徴や目的 禁忌 タオルセッティング					
第32回	実習	手技の基本を知る					
第33回	相モデル	トリートメント（前半）手技 確認 練習					
第34回	相モデル	トリートメントの練習（前半）					
第35回	相モデル	トリートメント（後半）手技 確認 練習					
第36回	相モデル	トリートメントの練習（後半）					
第37回	相モデル	トリートメント 15分通して					
第38回	相モデル	トリートメント 15分通して（仕上げ）					
第39回	相モデル	15分通して練習 各自確認					
第40回	試験	相モデル 両手15分 前半後半に分かれて一斉に行う					
第41回	精油の扱い方を知る	精油の使用法・注意事項・アロマセラピーでの禁忌					
第42回		実習：フェイシャルスチーム・バスソルト					
第43回		精油の抽出部位・精油の抽出方法					
第44回	精油の生い立ちを知る	実習：植物性シャンプー					

2021年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	池之上 大野 門田 清水 治村 中西 吉川	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。色彩の幅広い活用法やハンドトリートメント、アロマセラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。両手のトリートメントで15分のハンドトリートメントの流れを止めることなく行えるようになる事。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト3級編、ハンドトリートメント検定テキスト（日本アロマコーディネーター協会）アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式						
履修に当たっての留意点	日本アロマコーディネーター協会ハンドトリートメント検定受験可能						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第45回	アロマリラクセッション1	植物性オイルの種類と特徴・オイルトリートメントの効果					
第46回		実習：トリートメント用オイル（ボディ）					
第47回	自然の香りでスキンケア1	ブレンドする時の精油の濃度・数滴の計算の仕方					
第48回		実習：ローション					
第49回	自然の香りでスキンケア2	人間の脳と嗅覚					
第50回		実習：クレイパック					
第51回	自然の香りでスキンケア3	フェイストリートメント 顔と首の筋肉・トリートメントの方法					
第52回		実習：トリートメント用オイル（フェイス）					
第53回	中世ヨーロッパ 魔法の水	香り歴史					
第54回		実習：ハンガリーウォーター					
第55回	香りでお口のエチケット1	精油の安全性					
第56回		実習：マウスウォッシュ					
第57回	しなやかな髪をあなたに	アロマに役立つ解剖・生理学 呼吸器とアロマ					
第58回		実習：ヘアパック					
第59回	アロマリラクセッション2	アロマに役立つ解剖・生理学 循環器とオイルトリートメント					
第60回		実習：オイルトリートメント練習					
第61回	清潔な安らぎをお部屋に	ルームフレグランスと香りの心理					
第62回		実習：エアーフレッシュナー					
第63回	大切なシーンを彩るために	パフュームの知識・香りのノート					
第64回		実習：オリジナルパフューム					
第65回	香りでお口のエチケット2	精油に含まれている成分					
第66回		実習：歯磨き粉					

2021年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	池之上 大野 門田 清水 治村 中西 吉川	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。色彩の幅広い活用法やハンドトリートメント、アロマセラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。両手のトリートメントで15分のハンドトリートメントの流れを止めることなく行えるようになる事。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書き、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト3級編、ハンドトリートメント検定テキスト（日本アロマコーディネーター協会）アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式						
履修に当たっての留意点	日本アロマコーディネーター教会ハンドトリートメント検定受験可能						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考	
第67回	自然の香りでスキンケア4	復習		
第68回		実習：クリーム		
第69回		アロマと法律	アロマセラピーに関する法令	後期試験
第70回			実習：ハーブティ	
第71回	ラップブロー テンションブロー	サスーンヘアカットコンテスト1次予選に向けての ブロー技術習得		
第72回				
第73回				
第74回				
第75回				
第76回				
第77回				
第78回				
第79回				
第80回				
第81回				
第82回				
第83回				
第84回				
第85回				
第86回				
第87回				
第88回				
第89回				
第90回	ヘアアレンジ	校外イベントで使用できるヘアアレンジ技術の習得		
第91回				
第92回				
第93回				
第94回				
第95回				
第96回				
第97回				
第98回				
第99回				
第100回				
第101回				
第102回				
第103回				
第104回				
第105回				

2021年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	30時間	対象学年	2年
担当教員	藤川	実務経験	無			コース	カラーデザインコース
学修内容	AFT色彩検定公式テキスト1.2級編に準じて授業を行う。また、パワーポイントを使用した授業を行い、色彩の幅広い活用法を学ぶ。						
到達目標	色彩検定1級・2級の合格取得、色彩に関する知識、技能を習得する						
授業の方法	授業は主に講義にて行う						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト1級編、2級編						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	生活と色	AFT色彩検定公式テキスト2級P4～7に準じた授業 身の回りの色の見え方の理解を深める					
第2回	光と色 光の性質と色	AFT色彩検定公式テキスト2級P8～10に準じた授業 物体の反射の特性などの理解を深める					
第3回	光と色 視覚系の構造	AFT色彩検定公式テキスト2級P11～15に準じた授業 視覚（目）に対する色の見え方の理解を深める					
第4回	光と色/照明	AFT色彩検定公式テキスト2級P16～21に準じた授業 照明の種類や照明の色の見え方を習得する					
第5回	色の表示 マンセル表色系	AFT色彩検定公式テキスト2級P22～27に準じた授業 マンセル表色系について習得する					
第6回	色の表示 マンセル表色系	AFT色彩検定公式テキスト2級P22～27に準じた授業 マンセル表色系について習得する					
第7回	色の表示/色名	AFT色彩検定公式テキスト2級P28～31に準じた授業 色名について習得する					
第8回	色の表示/色名	AFT色彩検定公式テキスト2級P28～31に準じた授業 色名について習得する					
第9回	色彩調和	AFT色彩検定公式テキスト2級P32～43に準じた授業 配色や調和の技法を習得する					
第10回	色彩調和	AFT色彩検定公式テキスト2級P44～51に準じた授業 配色に対する演習や配色イメージを習得する					
第11回	ビジュアル	AFT色彩検定公式テキスト2級P52～57に準じた授業 グラフィック・パッケージデザインの技法を習得する					
第12回	ビジュアル	AFT色彩検定公式テキスト2級P58～65に準じた授業 Webデザインやサイン計画の考え方を習得する					
第13回	ファッション	AFT色彩検定公式テキスト2級P66～69に準じた授業 ファッション分類・流行色について習得する					
第14回	ファッション	AFT色彩検定公式テキスト2級P70～79に準じた授業 ファッション配色、繊維、ショップ売り場について習得する					
第15回	プロダクト	AFT色彩検定公式テキスト2級80～83に準じた授業 プロダクトデザインの配色を習得する					

2021年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	30時間	対象学年	2年
担当教員	藤川	実務経験	無			コース	カラーデザインコース
学修内容	AFT色彩検定公式テキスト1.2級編に準じて授業を行う。また、パワーポイントを使用した授業を行い、色彩の幅広い活用法を学ぶ。						
到達目標	色彩検定1級・2級の合格取得、色彩に関する知識、技能を習得する						
授業の方法	授業は主に講義にて行う						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト1級編、2級編						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第16回	プロダクト	プロダクトデザインの考案。各自で考えたオリジナルシャンプーをプロダクトデザインの観点と配色で作成する					
第17回	インテリア	AFT色彩検定公式テキスト2級84～89に準じた授業 インテリアのスタイルと配色を習得する					
第18回	インテリア	AFT色彩検定公式テキスト2級90～97に準じた授業 インテリアのスタイルと配色を習得する					
第19回	エクステリア	AFT色彩検定公式テキスト2級98～103に準じた授業 エクステリアの環境と色彩について習得する					
第20回	エクステリア	AFT色彩検定公式テキスト2級104～113に準じた授業 住宅のエクステリアの環境色彩、色彩計画について習得する					
第21回	まとめ	2級概要の振り返り、テストガイダンス					
第22回	テスト	2級筆記テスト実施					
第23回	色彩と文化	AFT色彩検定公式テキスト1級4～9に準じた授業 古代ヨーロッパや近代ヨーロッパの色彩について習得する					
第24回	色彩と文化	AFT色彩検定公式テキスト1級10～13に準じた授業 日本の色彩文化について習得する					
第25回	配色イメージ	AFT色彩検定公式テキスト1級86～97に準じた授業 配色イメージの手法について習得する					
第26回	配色イメージ	AFT色彩検定公式テキスト1級86～97に準じた授業 配色イメージの手法について習得する					
第27回	配色イメージ	配色イメージの10テイストのイメージカラーージュを作成 創造力・クリエイティブ力を身に着ける					
第28回	配色イメージ	配色イメージの10テイストのイメージカラーージュを作成 創造力・クリエイティブ力を身に着ける					
第29回	ファッション	AFT色彩検定公式テキスト1級108～111に準じた授業 戦後～近代の流行ファッションの流れについて習得する					
第30回	ファッション	流行ファッション・年代ファッション・ ヘアメイクのカラーージュ作成					